

令和4年10月

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析まとめと対策

小牧市立北里中学校長 松浦 恵美

4月に行われた全国学力・学習状況調査の分析まとめと対策を以下に記します。顕著な傾向のものを取り上げ、これからの学校及び家庭でのお子様の健やかな成長の一助となれればと願います。

学力調査国語

場面の展開や登場人物の心情の変化などについて描写を基に捉える問題については、全国や県より高い正答率を示しています。一方適切な文章表記に書き換えたり、意見文の校正や工夫について自分の考えを書いたりする問題については、全国に比べて正答率が低くなりました。

指導改善のポイント

正しい語句の意味や文法を理解、定着させたくて、自分の考えを文章で表現する活動を繰り返し行う中で自身の改善点を見出し、よりよい表現方法を獲得できるような学習を強化していきます。

学力調査数学

学習領域で見ると、「数と式」「図形」「関数」「データの活用」全領域で、正答率が全国や県平均より高くなりました。特に、『素因数分解する』『連立二元一次方程式を解く』『箱ひげ図の情報を正しく読み取る』で高い正答率となりました。一方、『角の大きさが一定であることを説明する』問題では正答率が低く、未解答率も高くなりました。

指導改善のポイント

資料活用の分野では、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する力を指導していきます。関数や図形の分野においても、基礎的な知識や基本的な性質を利用して特徴や問題解決の方法を語る力を高める指導をしていきます。また、自身の考え方が適切であるかを吟味する習慣づけを強化していきます。

学力調査理科

粒子に関する領域では、モデルで表した図や既存の知識及び技能を活用して分析・表現する問題で、全国や県に比べて高い正答率を示しています。一方、気象分野を中心に、データの解釈や考察を行う問題の正答率が全国や県に比べて低くなりました。

指導改善のポイント

実験などを通して様々な事象に触れながら、物事の原理を追究する授業に引き続き取り組みます。また、日常の事象にも置き換えながら、身近な事象と科学とのつながりを主体的に学ぼうとする態度の育成に努めます。

学習状況調査

①「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか？」→「寝ている」48.5%

「毎日同じくらいの時刻に起きていますか？」→「起きている」71.6%

→いずれも全国や愛知県10~20%上回っており、規則正しい生活を心がけていることがわかります。

②「自分にはよいところがあると思いますか？」→「ある」40.3% (R3 22.7%)

「将来の夢や目標を持っていますか？」→「持っている」40.3% (R3 32.0%)

「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」

→「している」40.3% (R 36.6%)

→自分に自信をもち、目標をもって活動できる生徒の増加傾向がうかがえます。

③「人が困っているときには、進んで助けていますか？」→「はい」56.0%

→全国や愛知県より15%以上高く、「どちらかといえば、当てはまる」を含めると90%を超えています。心優しい生徒が多いと言えます。

④「今住んでいる地域の行事に参加していますか？」→「はい」26.9%

→全国や愛知県の約2倍で、「どちらかといえば」を含めると50%を超えています。地域との関わりがもっている生徒が多いと言えます。

⑤「学校に行くのは楽しい」→「はい」54.5% (全国45.8%、愛知県45.2%)

→「どちらかといえば」を合わせると80%を超えています。コロナ禍で人と関わる機会が減少したことから、学校で友達と過ごすことを楽しいと感じている生徒が多くなっていると言えます。

⑥「学級での話し合い活動を生かして自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」

→4分の3を超える生徒が「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答え、県や全国よりも高くなっています。学校生活を送る中で、学級での話し合い活動が生きていると考えられます。

⑦「授業でPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか」

→週3回以上 69.4% (全国50.9%、愛知県53.4%)

「授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っていますか」→週3回以上 48.5% (全国37.2%、愛知県38.1%)

「学級の生徒と意見交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っていますか」→週3回以上 41.4% (全国17.8%、愛知県19.1%)

「自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っていますか」→週3回以上 29.8% (全国15%、愛知県15.6%)

→一人一台タブレットを学習の様々な場面で活用することが定着してきていると言えます。

⑧「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか」

→全くしない 45.5% (全国39.0%、愛知県42.7%)

「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームを読みますか」

→4時間以上 26.1% (全国16.3%、愛知県20.4%)

「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、SNSや動画視聴を読みますか」

→4時間以上 21.6% (全国15.6%、愛知県19.1%)

「放課後や週末に何をしておこなうことが多いですか」(複数選択)

→① 家でTVや動画を観たり、ゲームをしたり、SNSをしている=87.3%

② 学校の部活動に参加している=72.4%

③ 友達と遊んでいる=63.4%

→ゲームやSNSが生活の中で大きな割合を占めていることがわかります。